

原田さん家の板井原大根の種まき(板井原通信第6号)

訪問日 平成27年8月12日(水)



袋に小さな茶色の粒が入っています。この粒こそがこれから育てる板井原大根の種です。代々からこの種が他のものと交配しないように貴重に保存されています。

種まきは、ばら撒きで行います。高いところから撒いたほうが広範囲に散らばります。以前、焼畑を行った際に種を撒いていたそうです。現在でも、焼畑の撒き方を受け継いでいます。



耕運機を使い、鋤きこんでいきます。板井原大根は、一般的な大根の栽培方法とは違って、畝を立てずに自然に近い形で育てます。

耕し終わったら、上から、藁や葉を載せていきます。水遣りもしなくて、わずかな肥料のみで栽培します。

次回に続く



初めての板井原大根の種まきを体験しました。一般の大根の栽培方法とは少し違い、ばら撒きで行うことが分かりました。将来、畑を継いで野菜を作るので貴重な体験ができました。(N・M)